

令和2年度東京都立成瀬高等学校経営計画

東京都立成瀬高等学校長

宮田 明子

1 目指す学校

本校に寄せる地域の熱い期待に応えうる「知・徳・体の調和のとれた全人教育」を推進する進学校として、社会のリーダーを育成する学校を目指し、以下具体的な学校像を示す。

- (1) 生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた丁寧で組織的な学習指導を行うことで生徒の学力向上を図り、生徒の可能性を最大限引き出す学校
- (2) 国公立大学や難関私立大学等への進学に向けて粘り強く努力し、自ら自己実現に向けて考え行動する生徒を育成する学校
- (3) きめ細かい観察に基づく丁寧な生徒指導を行うことで、自他の存在意義や価値を認め、社会の成り立ちやルールを正しく理解できる生徒を育成する学校
- (4) 生徒会活動、部活動、学校行事等をとおして豊かな人間性とリーダーシップを育み、国際交流活動等をとおして世界的な広い視野をもった生徒を育成する学校
- (5) 体罰やいじめの未然防止の徹底及び特別支援教育の整備に取り組み、地域に根ざした体験活動等を行うことで、保護者や地域から信頼され、中学生及びその保護者から選択される学校

2 中期的目標と方策

- (1) 学力向上を図る教育の推進
 - ① 教員相互の授業観察と授業改善のための教員研修会の実施、及び生徒による授業評価や模擬試験・定期考査の結果分析による生徒実態の正確な把握を行い、それらに基づく授業改善を推進し、進学校に相応しい授業を実践する。
 - ② 探究研修部の主導により「総合的な探究の時間」に全教職員で取り組み、未来をたくましく生き抜く生徒の力を育成する。
 - ③ 「主体的・対話的で深い学び」の研究開発に各教科が組織的に取り組み、生徒の学習に対する興味・関心を高め、自ら積極的に学習しようとする意欲と態度を育成する。
 - ④ 土曜授業による授業時数の確保と、家庭での学習習慣の定着に向けた計画的組織的な指導を実践する。
- (2) 進路指導体制と指導内容のさらなる充実
 - ① キャリア教育・進路行事の内容の充実化を図るとともに、3年間を見通した系統的・計画的で組織的な進路指導を行う。
 - ② 読書を奨励して進学先の職業選択について興味・関心を深めさせる。
 - ③ 長期休業中や土曜日の進学対策のための補講、平常時の補習等を組織的に実施し、生徒の国公立大学や難関私立大への進学希望を実現させる。
 - ④ 大学入試改革、新生徒指導要録の導入に備えて校内体制を整えとともに、生徒の諸活動の記録と蓄積を組織的に進める。
- (3) 心身ともに健全な生徒の育成
 - ① 教育相談機能を充実させ、きめ細かい生徒観察と丁寧な生徒対応を行い、いじめ・体罰の未然防止に組織的に取り組むとともに、特別支援教育の充実を図る。
 - ② 基本的な生活習慣や社会規範の確立に向けた指導を徹底するとともに、「人間と社会」における体験活動やボランティア活動をとおして、他者を思いやる心の醸成と自律的な行動がとれる資質の育成を図る。

- ③ 挨拶の励行指導、遅刻防止や頭髮指導、身だしなみ等の指導を継続して行い、落ち着いた学習・生活環境づくりを推進する。
- ④ 避難訓練や防災教育等とおして、自他の生命と安全に対する意識を深め、災害時等に地域から頼られる存在となる指導を実践する。
- (4) 世界的な視野と主体的・自律的な行動力をもった生徒の育成
 - ① オーストラリア海外研修旅行、海外修学旅行の充実を図り、海外からの留学生の受入を定着させて国際交流活動を充実させるとともに、東京オリンピック・パラリンピック大会を見据えた行事や活動をとおしてレガシーの構築を図る。
 - ② ホームルーム活動や生徒会活動、部活動、学校行事等に積極的に取り組み、学習との両立ができる、人間性豊かで主体的・自律的な行動力をもった生徒を育成する。
- (5) 教育活動の積極的な発信と募集活動の推進
 - ① ホームページの内容充実と適時の更新、授業公開、学校見学会、学校説明会等の充実と、部活動体験、中学校の体験授業受け入れ、学校評価アンケート結果のホームページでの公開等により、中学生や地域の方々、さらには広く都民に積極的に本校の教育活動を紹介し、本校への理解を深めてもらうとともに効果的な募集活動を実施する。
 - ② 保護者会や三者面談、保護者対象の進路講演会等を充実させ、学校の教育活動に対する保護者からの信頼と理解を得る。
- (6) 学校の組織力の強化
 - ① すべての教育活動を進路指導に収斂させ、学校全体として進路指導に取り組む体制づくりを推進する。
 - ② 教職員のライフ・ワーク・バランスを推進するため、校務の効率化と業務縮減に取り組む。
 - ③ 教職員の服務規律の徹底を図る。
 - ④ 新学習指導要領、及び本校グランドデザインに則って、新カリキュラムの編成に向けて取り組み、教育相談機能の充実を目指して、校内研修を充実させる。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

ア 学習指導

- ① 入学時の生徒の進路希望、より高い進路希望を叶えることのできる授業の改善に全教職員で取り組み、進学校として相応しい授業を推進する。その方策として、以下に掲げる取組を実施する。
 - ・年4回以上の教員相互の授業見学
 - ・他校指導教諭による模範授業の活用
 - ・予備校主催の授業力向上セミナーの活用
 - ・生徒による授業評価の結果分析の実施とその活用
 - ・「主体的、対話的で深い学び」に関する校内研修会の実施
 - ・模擬試験、英語外部検定試験、定期考査の結果分析とそれに基づく授業改善、指導計画・内容の再検討
 - ・習熟度別少人数授業のさらなる有効活用
 - ・生徒の日常的な家庭学習時間の正確な把握と、学習内容定着に向けた指導の充実
 - ・年間指導計画に基づき、学習指導要領に則った適正な学習内容と進度の確保
- ② 「総合的な探究の時間」の取組を推進、充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を推し進め、他教科・科目へ波及させる。
- ③ 「英語教育推進校」として、英語外部検定試験の受験促進と英語力の伸張を図る。
- ④ 「自己実現ストーリー（教科編）」の具現化を図り、成高生として必須の学力と自主的に学習する態度を育成する。

イ 進路指導

- ① 進路指導部を中心として、国公立大学、難関私立大学への生徒の進学希望を叶えられるよう学校全体として組織的、計画的に指導にあたる。
- ② 生徒個人面談に加えて三者面談・保護者面談、保護者対象の進路研修会を充実させ、保護者と連携した進路指導を推進する。
- ③ 土曜日や長期休業中に進学対策講習、学力定着補講を効果的に実施する。
- ④ 計画的な読書指導をはじめとする言語活動の充実を図り、生徒の精神的成長を促し職業選択のための幅広い知識を習得させる契機とする。

ウ 生活指導、保健指導

- ① 基本的生活習慣の確立、特に遅刻防止の指導を全教職員で徹底して行う。そのため、始業時、授業開始時や、学年集会など、教育活動のあらゆる場面で遅刻防止の意識付けを行う。
- ② 頭髮、身だしなみ・服装（スカート丈、化粧）等の指導を徹底し、学校生活の規律を遵守させる。
- ③ きめ細かい生徒観察による迅速かつ適切な生徒対応を行い、生徒同士の良好な人間関係構築を支援、自己肯定感を育む。また、いじめ・体罰の未然防止とSOSの出し方に関する教育に組織的に取り組む。
- ④ 日常の美化活動を徹底して行い、落ち着いた学習・生活環境づくりを推進する。
- ⑤ 薬物乱用防止、成瀬高校SNSルール等により、健全な社会観を育成する。
- ⑥ 交通安全等のセーフティ教室を開催し、特に自転車の乗り方については指導を徹底する。

エ 特別活動

- ① ホームルーム活動や生徒会活動、部活動、学校行事等で生徒の自主性や参加意欲、成就感を育てるとともに、教科とも連携しながら主権者教育の充実を図る。
- ② 部活動加入を促進して生徒の学校への帰属意識を高め、部活動を最後までやり抜く強い精神力を養う指導を行い、教科指導とも連携して文武両道を実現する。
- ③ 台湾修学旅行やオーストラリア研修旅行の事前・事後学習、及び現地校との継続的交流によって、国際理解・異文化理解教育を促進する。

オ 健康づくりの推進

- ① 家庭や地域と連携して健康教育を推進し、健康、安全、環境、食事等に対する意識を高め、自らの健康を保持・増進させる態度を育てるとともに、体力向上に向けた意識を培う。
- ② スクールカウンセラー及び特別支援教育コーディネーターを中心とした教育相談委員会による生徒状況の迅速な把握とその対処法について全教職員で共有化を図り、特別支援教育にも組織的に取り組む。

カ 学校運営

- ① 授業改善と遅刻防止の指導を徹底して推進し、生徒の進路希望実現と進学実績の向上に資する。
- ② 探究研修部主導による組織的な「総合的な探究の時間」の実施と、指導計画・指導内容の充実化を図る。また、本年度新規導入する学習校務支援システムの、教育活動全般への効率的活用を実践する。
- ③ 新学習指導要領、教育相談、授業力・進路指導力向上等に関する校内研修会を充実させる。
- ④ 「理数研究校」としての取組を充実させ、理数教育への興味・関心を引き出し進路希望の選択肢を広げさせるとともに、生徒の自律的・主体的な研究活動を支援する。
- ⑤ 「海外学校間交流推進校」として、台湾修学旅行、オーストラリア研修旅行の充実、留学生受入の校内体制の整備等を推進する。
- ⑥ 経営企画室との緊密な連携を図りながら、入学選抜業務の適正実施を目指す。
- ⑦ 予算編成・執行、施設管理、学事業務、窓口業務等、学校経営の根幹を支える経営企画室の業務の適正化と充実化を図る。
- ⑧ 校務効率化と業務縮減に関する教職員提案を積極的に取り上げライフ・ワーク・バランスを推進する
- ⑨ 服務規律（情報セキュリティ強化、個人情報保護の適正管理、パワハラ・セクハラ防止、安全配慮義務の遵守、適正な会計処理、等）を徹底する。

キ 地域連携

- ① 関係機関と連携した防災教育やボランティア体験活動、教科等の体験学習の機会を通して、地域美化活動や保育園・幼稚園、小学校、中学校等地域の諸教育機関との活発な連携を行う。
- ② 学校開放事業、避難所連絡会等の地域連携活動を通して、地域に開かれた学校としての取組を推進する。

ク 募集広報活動

- ① 東京都指定3事業を学校の特色の中心に据えて、学校広報・生徒募集活動を推進する。
- ② 校長通信を適時にホームページに掲載し、学校の教育活動に対する保護者の理解と協力を得るとともに、生徒の活躍を学校外にも広く知らしめる。
- ③ 授業公開、学校見学会、学校説明会、部活動体験等により、中学生を主として地域の方々に積極的に本校の教育活動を紹介していく。

(2) 重点事項

ア 学習指導

- ① 全教職員が、進学校に相応しい授業改善に取り組み、各教科で「主体的、対話的で深い学び」に根ざした授業を行い、もって生徒、保護者から信頼される学校を目指す。
- ② 「総合的な探究の時間」の全校体制での指導推進と3年間の指導計画に則った指導内容の充実を図る。

イ 進路指導体制と内容の充実、生徒の進学希望実現

- ① 進路指導部を中心とした組織的な進路指導体制を構築し、学年ごとに異なる進路指導を脱却する。
- ② 進路指導部による模擬試験等の結果分析を実施し、教科による学力把握と授業改善に結びつける。
- ③ 国公立大学、難関私立大学への生徒の進学希望を叶えるため、志望者の集団形成と出願者増を図る。

ウ 生活指導・部活動

遅刻防止の指導を全教職員で推進するとともに、服装指導等を推進して学校生活の規律を守らせる。

エ 東京都指定3事業の推進と、特色ある学校広報の推進

「理数研究校」、「海外学校間交流推進校」、「英語教育推進校」の東京都指定3事業を推進し、もって本校の教育活動の質の向上と生徒の学習意欲の喚起、進路希望の実現につなげる。また、これら3事業を学校の特色として学校広報・生徒募集活動を推進する。

オ 服務関係

服務規律（情報セキュリティ強化、個人情報の適正管理、不適切なメール等セクハラ防止、「事故発生時の救急体制」に則った安全配慮義務の遵守、適正な会計処理等）の徹底を図り、服務事故0件を目指す。

カ ライフワークバランスの取組

定時退庁日やマイ定時退庁日の設定、夏季休暇や年休の取得促進等により、在校時間の縮減を図る。

(3) 本年度の数値目標

- ・ 生徒の学校満足度80%、保護者の満足度90%
- ・ 授業に対する満足度 生徒・保護者とも70%以上
- ・ 年間遅刻数計 1年：400以下 2年：700以下 3年：2000以下
- ・ 家庭学習時間（毎日平均：1学年1時間、2学年2時間）確保：達成率20%
- ・ 夏期講習：全学年での実施、60講座の開設、受講者延べ1200人
冬期講習：全学年での実施、30講座の開設、受講者延べ200人
春期講習：1・2学年での実施、10講座の開設、受講者延べ100人
- ・ センター試験：受験者数250名、各科目・各型得点率60%
- ・ 国公立大学：受験者数20名（全試験形態合計）、合格者数7名
- ・ 難関私立大学（早慶上理）合格者数7名、GMARCH合格者数60名
- ・ 校内研修4回（新学習指導要領、授業改善、生徒情報交換会、服務研修、等）
- ・ 部活動加入率（1・2年）85%
- ・ ホームページ更新回数 年間350回
- ・ 学校説明会・見学会等参加数延べ 3000人